

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
6 教図	書Ⅲ 302	書Ⅲ 著作者 関 正人 澤田雅弘 土橋靖子 辻元大雲 名児耶明 他11名

編集の趣旨及び留意点

書道の創造的な諸活動を通じて生徒が自己を表現することの楽しさや喜びを感じ、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てることを目指して編集しました。

編集の基本方針

時代の流れに
沿った
古典の配列

書道Ⅰ、書道Ⅱの漢字の書では、基礎・基本の重視という観点から、書体別に学習することで、各書体の特徴や技法などの理解の定着を図るよう配慮してきました。書道Ⅲでは、書の伝統と文化を理解する観点から、中国・日本の古典を時代の流れに沿って配列することで、書体の変遷の過程や、中国と日本の書と文化の交流史などについても知識を深めることができるよう工夫しました。

鮮明で
美しい図版
に学ぶ

書の美には、造形美、構造美、流動美、律動美などさまざまな要素があり、それらを直感的に鑑賞するとともに、分析的に味わうことで、作品の個性や様式美などを総合的に鑑賞することが可能となります。実物の迫力や味わいを忠実に再現した鮮明で美しい図版に学ぶことで、生徒が作品を総合的に鑑賞し、幅広い視野から書の伝統と文化について理解を深めることができるように配慮しました。

内容の特色

単元の配列 中国・日本の古典や名筆を時代の流れに沿って配列することで、東洋の文化と自国の文化を深く知り、書のもつ時代性や精神性への理解を深めることをねらいとしています。

単元の構成 漢字・仮名・漢字仮名交じりの書それぞれの単元において、各時代を代表する個性的な古典や名筆を取り上げ、各ページに関連する書論やコラムなどを効果的に配置しました。

[例] 1.漢字の書の美と文化]



教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色
<p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 美しく鮮明な図版により、幅広い古典の「美」に触れることで、感性が磨かれ、情操を豊かにすることができるよう配慮しました。 書の伝統と文化について理解が深められるよう、さまざまな観点によるコラムを工夫しました。
<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古典を学習することで芽生えた創作に対する意欲を、自主的、主体的に作品作りに生かすことができるよう配慮しました。 高校生が「書」にふれることで芽生えた感情や思考を深化させ、創作に転化できるよう配慮しました。
<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「書」が文字文化としてどのように変遷・発展したのかや、「書」の現代的意義について考えることができるようにするため、随所に書論を盛り込むなどの工夫をしました。 「書」が、他の芸術同様自分たちの身近にあるものであることに気づき、生活を豊かにするものの一つとして、生涯にわたり愛好することができるよう配慮しました。
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然との関わりの中で、「書」を文化として育んできた日本人の美意識、実用と芸術の両面から「書」を愛好してきた、日本と中国の文字文化の歴史について、深く理解できるよう配慮しました。
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「書」の伝統と文化、中国と日本の書の交流史について理解が深められるように、年表、囲み記事を豊富に掲載しました。 伝統を重んじる心を育み、そこからさらに新たなものを創り出す喜びを味わうことができるように工夫しました。

単元構成一覧及び学習指導要領との関連

単元	指導要領	編集上の留意点
<p>書と文化 本阿弥光悦 ～近世のアートディレクター～</p>	Bアウ	●本阿弥光悦をとりあげることで、書の伝統と文化とその背景となる諸文化との関連について、具体的に理解できるよう工夫しました。
<p>①漢字の書の美と文化 甲骨文／小臣餘犧尊／散氏盤／郭店楚簡／長沙子彈庫楚帛書／開通褒斜道刻石／礼器碑／西嶽華山廟碑／西狹頌／張遷碑／李柏尺牘稿／平復帖／喪乱帖／薦季直表／樂毅論／魏靈藏造像記／高貞碑／皇甫誕碑／枯樹賦／草書千字文／灌頂歷名／李嶠詩雜詠／白氏詩卷／離洛帖／黃州寒食詩卷／李太白憶旧遊詩卷／李太師帖／金剛經／玄妙觀重脩三門記／王鐸／傅山／吳熙載／何紹基／吳昌碩 篆刻 【簡牘の世界】／【日本上代の金石文】／【墨跡と茶の湯】</p>	A(2) A アイ Bアイ	●個性的な古典・名筆を幅広く掲載し、多様な書の美にふれられるよう配慮しました。 「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」で培った基礎・基本を土台に、高等学校芸術科書道の最後の段階に相応しい個性的な表現にもふれ、主体的に創作に挑める学習材の選定を心掛けました。カラーの鮮明な印刷で、臨書、鑑賞、創作のいずれにも参考・活用できるよう配慮しました。 ●臨書から創作への橋渡しとなる参考作品を、古典と同じページに掲載しました。 「書道Ⅲ」では、「書道Ⅰ」と「書道Ⅱ」ですすでに創作の手順について学習し、初歩的な創作活動を経験していることを前提に、より高いレベルで作品制作が行えるよう、古典のそばにその古典を基にしたと思われる参考作品を掲載しました。古典から何を学び、自己表現としてどのように昇華させればよいか、これらの作品から生徒自身につかんでもらうことがねらいです。
<p>②仮名の書の美と文化 秋萩帖／本阿弥切古今和歌集／金沢本万葉集／針切／香紙切／一条撰政集／中務集 【和歌と古筆切】／【料紙装飾と書の調和】／【五大万葉集】／【手紙の書】</p>	A(3) A アイ Bアイ Bアウ	●書論により古典の時代性や精神性にも触れ、総合的に鑑賞を深められるよう工夫しました。 書作品が、その時代にどのような位置にあり、またどうとらえられていたのか、また、後の時代にそれがどう影響していったのか、関連する書論を通して深く理解できるよう配慮しました。
<p>③漢字仮名交じりの書の美と文化 漢字の各書体に調和する仮名の工夫／粗密が描く紙面の均衡／響き合う行と余白／流れと躍動する書線／漢字仮名交じりの書の流れ 【自分自身の表現を求めて】／【思いとことばをつむぐ書】／【近現代のさまざまな試み】／【未来を彩る】</p>	A(1) A アイ Bアイ Bアウ	●名筆の鑑賞により感性を磨き、現代社会を取り巻く文字環境の変化の中で、効果的に表現を工夫することができるよう配慮しました。 自己の感興や意図を実現するために、生徒が主体的に構想を具現化し、素材にふさわしい書風を考えたり、線質や全体の構成などを工夫することができるよう、参考となる個性豊かな名筆を豊富に掲載しました。また、書の文化を継承し、創造する意欲を高めることができるよう、自身の未来と書の関係について考えられる単元を設けました。